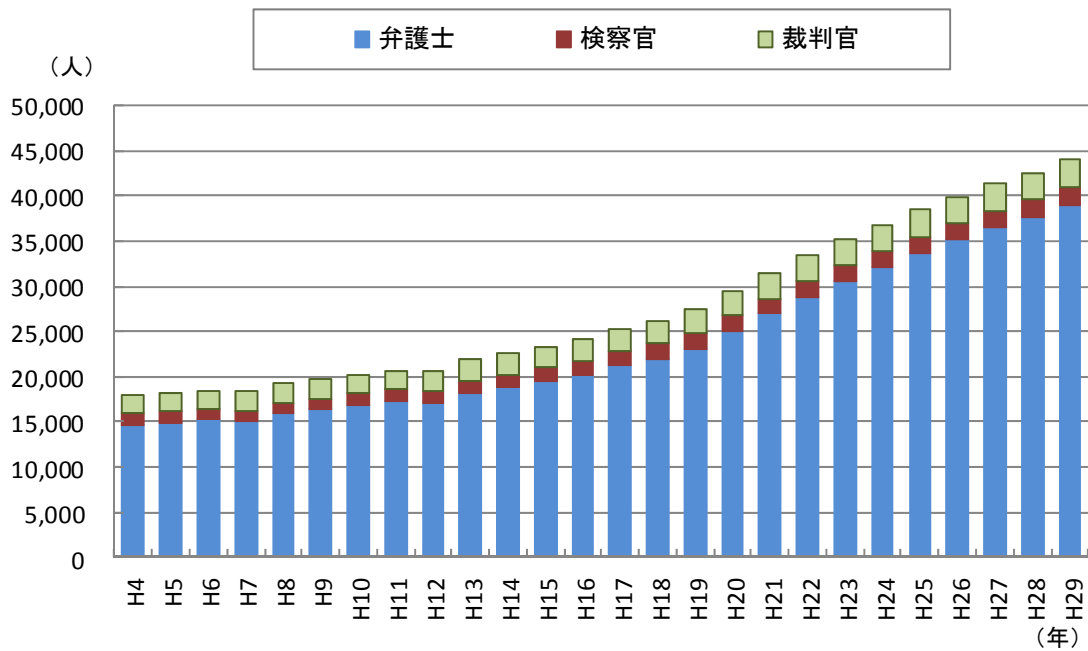


法曹三者の人口の推移

	弁護士	検察官	裁判官	合計		弁護士	検察官	裁判官	合計
H4年	14,704	1,173	2,029	17,906	H17年	21,205	1,548	2,460	25,213
H5年	14,953	1,173	2,036	18,162	H18年	22,056	1,591	2,535	26,182
H6年	15,212	1,173	2,046	18,431	H19年	23,154	1,634	2,610	27,398
H7年	15,110	1,173	2,058	18,341	H20年	25,062	1,679	2,685	29,426
H8年	15,975	1,208	2,073	19,256	H21年	26,958	1,723	2,760	31,441
H9年	16,398	1,242	2,093	19,733	H22年	28,828	1,768	2,805	33,401
H10年	16,853	1,274	2,113	20,240	H23年	30,518	1,791	2,850	35,159
H11年	17,283	1,304	2,143	20,730	H24年	32,134	1,810	2,880	36,824
H12年	17,130	1,345	2,213	20,688	H25年	33,682	1,822	2,912	38,416
H13年	18,246	1,375	2,243	21,864	H26年	35,113	1,835	2,944	39,892
H14年	18,851	1,414	2,288	22,553	H27年	36,466	1,845	2,976	41,287
H15年	19,523	1,453	2,333	23,309	H28年	37,722	1,855	3,008	42,585
H16年	20,240	1,505	2,385	24,130	H29年	39,027	1,865	3,035	43,927



※ 弁護士数は、日弁連調べによるもので、各年4月1日現在の正会員数。平成7年及び同12年の弁護士数については、第47期（平成7年）及び第52期（同12年）の司法修習生の司法修習終了日が4月3日であったため、その年の修習終了直後の新規登録弁護士数（第47期（平成7年）については438名、第52期（同12年）については579名）の増加分が反映されていない。

※ 検察官数は、各年度の定員（副検事を除く。）。

※ 裁判官数は、各年度の定員（簡易裁判所判事を除く。）